

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え（右の絵に○をつける）と②住所・③氏名（ふりがな）・④年齢・⑤電話番号・⑥広報紙の感想・ご意見を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり6月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

4月13日（水）当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で10人の方にクオカードもしくはラグーナの湯無料利用券をプレゼントします。なお、賞品は6月初旬に郵送します。



「膳塚」(形原町)

むかし、形原の鹿末に、庄九郎と三太夫という二人の百姓がいました。庄九郎はおひとよしで正直者でした。その反対に、三太夫は利口で理屈者でした。

二人は子どものは仲良しで、よく一緒に遊んだものでした。しかし、おとなになると三太夫は、米や金を貸す仕事をしはじめ、期限までに返せない人からは情け容赦なく家や畑をとりあげていき、大金持ちになりました。

一方庄九郎には病気の母親がいました。死んだ父親は、村のために自分のお金を使って道を作ったので、財産をすっかり使い果してしまいました。そのため母親の薬代にも困る貧乏な毎日を過ごしていました。

ある日、途方に暮れていた庄九郎は、三太夫に声をかけられ、「かあさんの病気はどうだ。薬をかうお金がないなら何とかしてあげよう」と言って、お金を貸してくれました。やがて借りたお金を返す時がきて、庄九郎には返すお金は一文もありませんでした。

三太夫は、「返す金がないならお膳を渡せ」と言って、先祖代々家宝にしてきた「膳絵の膳」を持って行ってしまいました。

まもなく、「膳を返せ、膳を返せ」と言っ村中を走りまわる男がいました。いうまでもなく庄九郎でした。やがて叫びつかれた庄九郎はこの世を去ってしまいました。

かわいそうに思った村人たちは、妙厳寺に葬り、塚を作って供養してやりました。それからこの塚に願をかけると膳が出るといううわさがひろがり、「膳塚」というようになりまし。

◆2月号の答え

2月号クイズまちがいさがし
(大塚勝川の石薬師の当選者
応募総数67通
正解者54人
当選者敬称略・50音順)
形原町 市川ちあ子
緑町 井端妃美子
竹島町 内田陽子
竹谷町 永川佐京
御幸町 榎本宏文
形原町 大竹正彦
清田町 小田明子
三谷町 竹内くみ子
三谷町 竹内恵子
豊岡町 洞田万友美
おめでとーございます。賞品は4月初旬に発送します。

